

令和7年12月19日

福井県農業再生協議会

令和8年産米の生産数量の目安について

1 福井県産米の生産数量の目安の考え方

- ・国が示した令和8年産の全国の需給見通しを参考にするとともに、福井県産米の過去の需要実績および聞き取りによる需要見込みに基づき目安を設定する。
- ・国の支援策等を最大限に活用し、生産者の所得確保を図りながら、備蓄米等の水田活用米穀や飼料用米、大豆、そば、園芸品目への転換を進める。
- ・令和8、9年産主食用米の生産、販売拡大につながるよう積極的に販路を開拓していく。

令和7年産 生産数量の目安		令和8年産 生産数量の目安		R8目安－R7目安		
数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	比率(%)
116,718 t (124,000t)	22,489 ha (23,300ha)	119,919t	23,106 ha	+3,201 t (-4,081t)	+617ha (-194ha)	+2.7% (-0.8%)

※（ ）カッコ内は7年産実績。

2 地域協議会別の生産数量の目安の設定方針

(1) 基本的な考え方

令和8年産米の地域別協議会の生産数量の目安は、平成28年産米の市町別生産数量目標のシェア（固定）に基づき設定する。

(2) 具体的な算定方法

①市町別の生産数量の目安

【県の生産数量の目安】×【平成28年産米の市町別生産数量目安目標のシェア】

②面積換算値

地域協議会の面積換算値については、北陸農政局が毎年公表する当該市町の10a当たり収量（平成29年～令和6年の最高最低を除いた6ヵ年平均）を基に算定する。